

落合 図書館

R5年度				
柱	取組内容	進捗状況(年度途中)	年度末まとめ (やってみてどうだったか、来年度以降どうしていくか)	完了/継続
1	■継続 図書館そだて会議で広い世代から意見を収集し、利用しやすい図書館を目指す。	アンケートを実施し、そだて会議に参加できない人の意見も集め、会議やこれからの図書館運営の参考にした。	利用者が日頃思っていることが分かってよかった。頂いたご意見のうち、可能なものから実現していく。	継続
2	■継続 ①小学校や児童クラブ、こども園などに定期的に本を貸し出し、子どもたちが本に触れる機会を提供する。 ②乳幼児健診に合わせて本の展示を行う。	①今年度は、児童クラブのほか小学校やこども園からの配本依頼があった。一部中央図書館に応援を依頼した。 ②6月と7月に健康推進課が行った「ババママクラス」で図書館と本の紹介をした。帰りに図書館に立ち寄ってもらえたり、紹介した本を借りていただけたりした。	①担当の先生が変わったり、学校の蔵書が増えたりなどの事情で図書館からの定期的な配本は変わるかもしれないが、学校と連携して無理のない形で続けていきたい。児童クラブやこども園への配本は、引き続き行う予定。 ②アンケートでも「妊娠中に図書館を知っていたら」というご意見があった。こういった機会を生かして、図書館や本の紹介をしていきたい。	継続
3	■継続 真庭高校の図書委員を中心に連携を強め、図書館を有効に活用してもらえるような仕組みをつくる。	真庭高校との連携はさほど進まなかったが、医療以外にも、ビジネス関連や農業関連の蔵書を増やしていった。また、高校と中学には独自の図書館だよりを作成し、2か月に一度新刊書やおすすめの本を紹介するなどした。落合中の図書館だよりが届くようになったので、ティーンズコーナーに掲示。	図書館だよりの作成は、引き続き行う予定。他業務との兼ね合いも考えつつ頻度も検討していく。 高校や中学の課題に関連する蔵書の収集にもさらに力を入れていく。	継続
4	■継続 中央図書館から年3回本を借受し、展示・貸出を行う。その他県立図書館や市内他館とも相互貸借を行う。	今年度は、中央図書館だけでなく久世図書館からも本を借受した。県立図書館や市内他館との相互貸借も行い、本を探している利用者への案内も行った。	好評なので、引き続き行う予定。市内外を問わず、図書館の資料は予約・取り寄せが可能なのだということも周知していく。	継続
	■継続 公民館事業とコラボしたイベントを実施する。	「子どもの居場所づくり事業」とのコラボで工作や手芸教室、DVD上映会を行った。毎年好評なので、引き続き実施。1月に行われた市民大学講座の際、資料の展示と貸出を実施。	振興局や公民館事業に関連した本の展示や紹介なども実施する。 「親子スイートブック事業」は参加者が減少しているので、こども園に働きかけるなど告知方法を検討。	継続